

No2448

赤坂山～寒風山

日時： 2月1日（日） 曇り時々雪

参加： 鳴原（L）、右田、佐々木（記）

新大阪、7：00集合し早速、鳴原車で出発。 スキー・スノーボーバが多い。一昨日より天候が崩れ、雪を気にしながら京都東より湖西自動車道を高島方面へ、マキノ高原から取り付きとなる。

子供用のベルトリフトだけのマキノスキー場は、家族連れでいっぱいである。 あいにくの雪模様の天候であるが、我々は今年初めてのスノーシューを楽しみに出発（9：40）。

テープと踏み跡がしっかり付いており、快適に東屋休憩所着（10：45）。 途中、2～3パーティーを追い抜きながらの道程であったが、このあたりから赤坂峠までの約1時間、急登が現れ踏み跡も無くなる。

赤坂峠からは急に風が出てきて体感温度を奪い取る。 鉄塔下を通過して赤坂山を目指す、眺めは意外に良い。 高島トレールのピークが続く赤坂山山頂では、風に飛ばされそうになりながら記念写真を撮るのがやっとなのである（12：00）。

そろそろ腹の虫が泣き出したが、風を避ける場所もなく赤坂峠に戻る。 ピストンにするか少し迷ったが、予定どおり進むことにして寒風山（大谷山方面）へとる。 さえぎる物が何もない尾根道の為、風はさらに吹きすさび体を確保する事しばしばである。

尾根横の大きく出っ張った雪庇に気を付けながら、方向を頼りに寒風山着（13：00）。

峠下で風を避け、ようやく昼食（13：20）。

このあたりからは、マキノスキー場が下界に見え隠れするが、下りは急なジグザグ道を取る。 大谷山への登山道であり、山スキーの跡や踏み跡がついている。

スキー場着（14：10）、準備して帰阪。 新大阪、無事着（16：30）、久しぶりのスノーシューを楽しむ事が出来ました。 鳴原リーダーありがとうございました。

